

徳島大学病院 POTT プログラム研修会

平成28年 9月29日 17:15~19:40 場所: スキルラボ

参加者: 7名 各病棟コアナース 講義・指導: 竹市美加 CN

サポーター 兼本ひろみ CN 小畠寛恵 CN

◎四国初 POTT は、2 施設が同時開催となり講義もサポーターも同時スタートでした。徳島大学病院で総合打合せをした後に、吉野川医療センターと分されました。それにも関わらず、参加者の方々の満足度は高かったようです。サポーターのみなさん、参加者の方々の協力に感謝します。

【受講者の感想】

- ・今まで、ポジショニングは知っていたが、ここまでポジショニングが重要だと思わなかった。背ぬきはしていなかった。手技がもう少し覚えたかったが、時間が足りなかった。食事の時の高さ、手の位置など勉強になった。
- ・ポジショニング、知っていたつもりであったが、患者側と看護師側を両方体験したことで、いい勉強になった。
- ・褥瘡のポジショニングを知っていたが、食事介助でのポジショニングは全く違うこと、スプーンの持ち方、食事の見せ方など勉強になりました。明日以降、実践していきたいが、それが習得できるかが不安です。
- ・今までポジショニングを意識していなかったが、実際にやって感じたことで、食事をしている人にはポジショニングが大切だということがわかった。
- ・自分が患者の立場になることがなかった、患者の気持ちを考えながら実践していきたい。また、スタッフに伝えていきたい。
- ・患者さんの窮屈さを理解できた。明日から取り入れたい。
- ・どうしてもずれが生じているのかを理解できた。自分たちのこれまでのポジショニングがどう影響を与えているのかを体感できた。早速明日から患者さんに実践していきたいと思う。

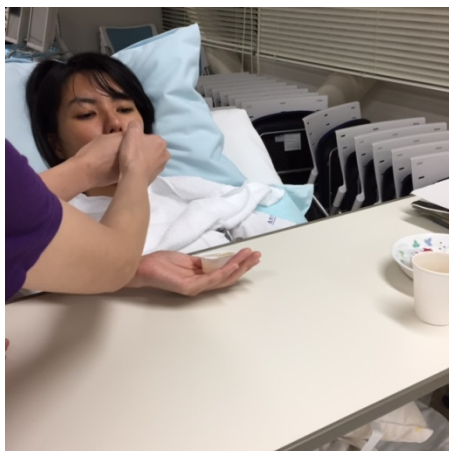
【担当 K さん (CN) 感想】

・私にとって大きかったのが、看護ってどういうことか、患者さんにケアをしてさしあげることってこういうことなんだと感じることのできる研修でした。認定看護師として活動する中での苦悩も葛藤も毎日抱えていますが、目の前の患者さんのこと、忘れないで実践できる看護師でありたいと改めて思いました。

【講師からのアドバイス】



自分たち看護師が食事介助技術を身につけて、食べられないことを患者さんのせいにしないようにしましょう。食べられないのは、看護師側の介助に問題があることが多いです。なぜ食事中に姿勢がずれてしまうのか？それはポジショニングに問題があります。今日患者側を体験したことは、患者さんに与えていた苦痛も体感できたのではないのでしょうか。ポジショニングの技術については、今後は認定看護師にしっかりフォローをしてもらってください。今日学習した技術を、患者さんにしっかりと還元していきましょう。



←食事介助 スプーンテクニック

*全員での集合写真が撮れなかったことが、唯一残念だったそうです。



今回の、
四国 POTT サポートメンバー
徳島大学病院玄関前にて。